



消防団たずね歩き

全員が初心にもどり、見て、聞いて、動いて、覚えよう!



記録的な猛暑が続いていた真っただ中の8月29日、兵庫消防団の夏期特別訓練を神戸市民防災総合センターにて実施しました。

本年度より、計画から運営までをすべて消防団主催でおこなうこととなり、企画運営のため各分団の副分団長で実行委員会を結成しました。実行委員会で検討を繰り返し、「神戸市消防団火災現場活動要領」や各分団の要望意見を踏まえながら、実践的な訓練と応用的な体験型訓練を折り込み、訓練内容を決定しました。

当日は、総勢123人で次のとおり実施しました。

●規律訓練

部隊訓練を重視し、団長巡視のあと、小隊から中隊、中隊から大隊と、指揮者を移行しながら実施しました。

●放水訓練

可搬式ポンプで吸水し、団に配備されて

いないダブコンノズルで、筒先交代要領を確認しながらの放水訓練でした。

●現場指揮所訓練

火災現場での指揮所運営を想定。現場指揮所の要請により、本団と分団は明確な指揮命令系統を確立して団員に各種活動を指示、また団員からの報告を集約して指揮所に伝達できるのか検証しました。

●高所放水訓練

地上で管そうにロープ結索、上階で自己確保(命綱)をとり、ホースを吊り上げ、高所での放水を実施しました。

今回は事前に、本団、全分団が集合して訓練項目を予習的に実施し、当日はその成果を団長に披露する形式としました。

今回の訓練を通じて、全団員がひとつの目標に対して一致団結していくことの大切さを再認識しました。

(兵庫消防団長 伊庭勝一)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

